



写真提供：SAI グループホールディングス(株)

名称	CCU_01二階建てモデル棟 (built in CLT CELL UNIT研究施設)					
所在地	〒847-1504 佐賀県唐津市肥前町中浦1636-5 又は、1636-7					
竣工	2022年3月	階数	地上2階	階	最高高さ	7,280 mm
建築面積	84.86 m ²	延床面積	167.25 m ²		軒高	6,730 mm
施工会社	(株)采建築社	使用したCLT	29.4 m ²		用途	研究・実験施設
CLT利用部分(該当項目に☑あり)	<input type="checkbox"/> 屋根	<input checked="" type="checkbox"/> 天井	<input checked="" type="checkbox"/> 床	<input type="checkbox"/> 壁	<input checked="" type="checkbox"/> 階段	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (ユニット躯体)
CLTサイズ	(最大) 巾 2280mm x 長さ 4580mm x 厚さ 90mm					
構造	CLTパネル工法		防耐火仕様		その他	
構造別ルート	②告示第611号CLTパネル工法計算ルート		設計ルート		ルート3	
意匠設計	(株)Sai Design Architect		構造設計		(株)日本システム設計	
特長	<p>CCU_01 二階建てモデル棟は、『CLT CELL UNIT』を4台使用、分離配置して、2層連層した二階建てモデル棟です。1台のユニットが負担可能な約4倍床面積とプレースレス構造が特徴のフラッグシップモデル棟で、全ての外壁面は耐力負担しない為、全面開口が可能です。2020年に個別プラン評定を取得済みであり、事務所、店舗、住宅など幅広く活用可能なコンセプトモデルです。『CLT CELL UNIT』は、CLT材の柱壁、垂れ壁を日本古来の伝統技術である『蟻織(チキロック)』(雁さね)で強固に締結され、鉄骨架台上に鋼板挿入ドリフトピン接合で、一体化したユニット構造躯体です。CLTパネル材の接合に金物を全く使用しないことで、現し仕上げの美観確保が可能です。ユニット化による施工方法で単純化を図り、工期短縮が可能となつて、かつ、建設業従事者/職人不足の問題の対策となり得るものです。ユニット利用と構成により、更なる高耐久化も可能であり、連結配置、分離配置、さらには連層などにより、多様な利用が可能です。この『CLT CELL UNIT』をオープンプロダクトとして、コミュニティ形成し、皆で守り育て発展させ、価値そのものを新たにデザインして創造していくようなオープンイノベーションを可能とします。</p> <p>◆CCU (=『CLT CELL UNIT』) コミュニティ形成について</p> <p>『CLT CELL UNIT』は、まるで“LEGOブロック”のように、並べたり重ねたりする建築工法を可能にした構造躯体です。現在、「一般評定」取得の段階にあり、最終的には、「図書省略認定(大臣認定)」取得推進するものです。CCUをオープンプロダクトとしてコミュニティ形成して、全国の設計事務所や工務店様など、多くの方々に参画頂き活用しながら、共に発展させ創造することの出来る「構造躯体」です。CCUに使われる部材や壁・屋根パネルなど多様な部材パーツも協働開発等が可能であり、CCU関連商品としてラインアップ拡張されています。</p>					